

# 全校朝会（苦手なことがあったら…）

2017. 12. 11

6年生に、「わたしが見付けた、頑張っている人」の紹介をしてもらいました。

- ・挨拶当番の6年生が、掃除を頑張っている1年生と吹奏楽団の活動を頑張っている3年生を紹介してくれました。

この間、4年生に体育館で「鈴の入れられるボールってありますか。」と聞かれました。何をするのだろうと思っていたら、どうやら、ブラインドサッカーを教わったので、自分たちも学級の時間にやってみたい、でも、音のするボールがないから何とかしようということのようでした。中に鈴を入れられそうなボールはなかったので、古いボールを渡して、「これを好きなように作りかえてみたらどうかな？」と提案しました。その後、どうなったでしょうか。うまくいったでしょうか。

ブラインドサッカーというのは、毎年4年生が体験しているのですが、目の不自由な人が行うスポーツの一つです。5人でやります。ゴールキーパー以外は全員アイマスクを付けます。まったく見えない人も少し見える人もいるので、みんな同じになるようにするためです。音がするボールを使います。ボールを奪いに行くときには「ホイ」と言いながら行きます。「ホイ」というのは、スペイン語の「行く。」という意味の言葉です。言わないでボールを奪いに行ってしまうと販促になります。キーパーは、まったく見えない人ではなく少し見える人がやります。相手チームのゴールの後ろには、ガイドという人がいて、ゴールの位置や距離や角度を教えます。私も見たことがあるのですが、「えっ、こんなスピードで走って行って大丈夫なの？」「ボールを奪いに行くところがけっこう激しいな。」「ブラインドサッカーの選手ってすごいな。私は全然勝てそうにない。」と思いました。

ブラインドサッカーの他にも、パラスポーツと言われるものはたくさんあります。パラ陸上、パラ水泳、車いすテニス、車いすバスケ、車いすダンス、ブラインドマラソン、ボッチャ・・・、土曜日の新聞に、車いすテニスの上地結衣選手が、第2回日本パラスポーツ大賞に選ばれたという生地が出ていました。上地選手は、今年、車いすテニスの四大大会のうち三大会で優勝したそうです。もちろん、ランキング1位です。でも、「ずっと同じことをやっていたら勝ち続けることはできない。」と、練習を重ねているそうです。優秀賞には、7月にトルコという国で行われたデフリンピックで9このメダルをとった水泳の藤原選手と女子バレーボールチームが選ばれたそうです。「デフ」とついている大会には、耳の不自由な人が出場しています。藤原選手も1歳の時に高い熱が出て耳が聞こえにくくなってしまったそうです。普段は補聴器を付けているのですが、子供の時には、それがとても嫌だったそうです。みんなにばれないようにしていたそうです。そのことを理由に、からかわれたりいじめられたりしないように、頑張ってきたそうです。私は、誰もがそれぞれに頑張ることは大事だと思うのですが、できないことがあったら、友達に頼めばいいと思います。私は、頼みづらい人もいると思うので、困っている人がいたら自分から声をかけようと思います。私自身ができないことは、それはできなさそうだから、他のことをやるね・・・と、伝えて自分ができることを探すようにしたいです。どんな人にも得意なことと苦手なことがあるので、得意なことはもっと得意になるように頑張り、苦手なことは自分でもできる方法を考えたり友達に考えてもらったりしながら、できることをできるだけ頑張ろうと思います。

サッカーの表彰をしました。